

2025年度 教育課程

理学療法士学科

系列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1年		2年		3年		講義概要
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎分野	科学的思考の基礎・人間と生活	医療英語 Medical English	必修	講義	1	30	30						医療現場に関係する英単語・英文・文法・発音等を身につける。
		情報科学 Information Science	必修	講義	1	16	16						情報科学の基礎理論を学び、情報機器の操作・仕組みを理解し情報化社会に必要な情報処理能力を身につける。
		物理学 Physics	必修	講義	1	30	30						人体の運動における物理的作用とその影響を学び、動作・運動の基礎となる物理的知識を身につける。
		医療倫理学 Medical Ethics	必修	講義	1	16	16						現代医療における臓器移植、尊厳死など生と死の問題から生命倫理、人の尊厳を幅広く学ぶ。
		健康スポーツ科学Ⅰ Health Sports ScienceⅠ	必修	講義 演習	1	16	16						運動生理学的観点から、身体運動のメカニズム、テーピングや栄養指導などの知識・技術を学ぶ。
		健康スポーツ科学Ⅱ Health Sports ScienceⅡ	必修	講義 演習	1	16		16					運動生理学的観点から、介護予防や認知症予防、転倒予防などの高齢者トレーニングについて学ぶ。
		国際医療福祉 International Medical Welfare	必修	講義 演習	1	30				30			米国の理学療法、リハビリテーションの実践に携わる施設を訪問し、国際化社会に対応する知識を身につける。
		コミュニケーション論 Communication Theory	必修	講義	1	30	30						グループワークなどで、患者・利用者等との良好な人間関係を構築するためのコミュニケーション能力を身につける。
		社会福祉論 Social Welfare Theory	必修	講義	1	16				16			医療社会における医療の役割や医療従事者の意識・倫理について理解を深める。
		心理学概論 Psychology	必修	講義	1	30	30						人間の行動の原動力となる心の働きに注目し、自由で主体的な判断と行動が出来る能力を身につける。
		人間関係論 Human Relations	必修	講義	1	16	16						人間関係を学び、援助者である自分自身を理解する。また、理学療法場面での援助関係を円滑に築くための基礎を学ぶ。
		家族論 Family	必修	講義	1	16	16						現代社会における社会変動が家族に及ぼす影響や個人のライフスタイルと家族という集団の関連、家族関係と職業・労働の問題、家族にまつわる様々な諸相について学ぶ。
		地域と健康 Community and health	必修	講義	1	30		30					地域で生活する人々を理解する。コミュニケーションや社会人としての基礎的態度を学ぶ。
		論理学 Logic	必修	講義	1	16	16						理学療法実践には科学的根拠を追及する論理的思考ができ、効果的に理学療法実践に活用する方法を学ぶ。
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖生理学Ⅰ Anatomical physiologyⅠ	必修	講義	1	30	30						人体の成り立ちを知り、運動器・循環器・呼吸器・消化器における正常な形態と構造を学ぶ。
		解剖生理学Ⅱ Anatomical physiologyⅡ	必修	講義	1	30	30						人体の生理的作用を知り、細胞や循環器・呼吸器・消化器の正常な機能を学ぶ。

理学療法士学科

系列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1 年		2 年		3 年		講義概要
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖生理学Ⅲ Anatomical physiology Ⅲ	必修	講義	1	30		30					人体の構造を理解し、内分泌・泌尿器・神経系における正常な形態と構造を学ぶ。
		解剖生理学Ⅳ Anatomical physiology Ⅳ	必修	講義	1	30		30					人体の生理的作用を理解し、内分泌・泌尿器・運動器・神経系の正常な機能を学ぶ。
		骨関節系機能学Ⅰ Anatomical Physiology -OrthopedicsⅠ	必修	講義 演習	1	30	30						人体の基本構造を骨・関節を中心に学習し、実習も交え三次元的に理解し、説明が出来る能力を身につける。
		骨関節系機能学Ⅱ Anatomical Physiology -OrthopedicsⅡ	必修	講義 演習	1	30	30						人体の基本構造を筋を中心に学習し、実習も交え三次元的に理解し、説明が出来る能力を身につける。
		運動学Ⅰ KinematicsⅠ	必修	講義 演習	1	30		30					人体の各関節の機能運動学や基本的な動作における筋の力学的作用を系統だてて理解する。
		運動学Ⅱ KinematicsⅡ	必修	講義 演習	1	30		30					人体の各関節の機能運動学や歩行などの動作をもとに力学的作用とその分析する能力を身につける。
		動作学 Kinesiology	必修	講義	1	30		30					人間の生活動作や身振りなどの動きの果す機能や役割を体系的に研究する。
		発達心理学 Developmental Psychology	必修	講義	1	30		30					心身の発達を、社会的・神経学的・運動発達学的側面から系統だてて理解する。
		解剖生理学演習Ⅰ Anatomical Physiology & PracticeⅠ	必修	演習	1	30	30						人体の構造、組織、器官などを理解するために精密機械を利用して、バイタルサインなどの生理現象を学ぶ。
		解剖生理学演習Ⅱ Anatomical Physiology & PracticeⅡ	必修	演習	1	30		30					人体の構造、組織、器官などを理解するために精密機械を利用して、筋電・心電などの生理現象を学ぶ。
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学 Pathology	必修	講義	1	30		30					疾病の原因、発生機序の解明や疾病の診断を確定などの疾病の本態を理解し、理学療法と繋げる知識を身につける。
		臨床心理学 Clinical Psychology	必修	講義	1	30			30				心理アセスメントと心理療法を中心に自己及び患者の心理について、各種心理テストを用いて学ぶ。
		機能障害学Ⅰ Functional Disability StudiesⅠ	必修	講義	1	30	30						理学療法の対象となる機能障害の病態や治療、回復過程について学ぶ。主に炎症・疼痛・神経損傷などについて学ぶ。
		機能障害学Ⅱ Functional Disability StudiesⅡ	必修	講義	1	30		30					理学療法の対象となる機能障害の病態や治療、回復過程について学ぶ。主に萎縮・拘縮・協調性・意識障害などについて学ぶ。
		内科学Ⅰ(呼吸器) (Internal medicine)	必修	講義	1	16		16					人間の基本的な機能である、呼吸機能が障害された状態の診断、症状、検査、治療、処置等について学ぶ。
		内科学Ⅱ(循環器、血液) (Internal medicine)	必修	講義	1	16		16					疾病の生じる因子、症状や時間の経過に伴う変化、そして治療としてどのように取り組むかを学ぶ。その中で理学療法士がどのように関わっていくかを考える基礎とする。

理学療法士学科

系列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1 年		2 年		3 年		講義概要
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門基礎分野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	内科学Ⅲ(消化器) (Internal medicine)	必修	講義	1	16		16					疾病の生じる因子、症状や時間の経過に伴う変化、そして治療としてどのように取り組むかを学ぶ。その中で理学療法士がどのように関わっていくかを考える基礎とする。
		内科学Ⅳ(内分泌・腎泌尿器) (Internal medicine)	必修	講義	1	16		16					疾病の生じる因子、症状や時間の経過に伴う変化、そして治療としてどのように取り組むかを学ぶ。その中で理学療法士がどのように関わっていくかを考える基礎とする。
		整形外科学 (Orthopedics)	必修	講義	1	30		30					主な運動器の疾患について、原因、病理、症状、経過、治療、注意事項、併せて障がいとの関連についても学んでいく。
		神経内科学 Neurology	必修	講義	1	30		30					脳・神経系疾患の成り立ちを主要疾患・主要症状・検査・治療・合併症・予後を含め理解する。
		小児科学 Pediatrics	必修	講義	1	16			16				成長・発達時期の疾病について、その予防と発症・治療、回復過程に関する知識などについて画像をまじえながら学ぶ。
		精神医学 Psychiatry	必修	講義	1	16			16				精神障害の病因、類型、経過、治療などの精神医学の基礎を学び、面接法についても学ぶ。
		医療の動向・高齢者対策 Medical Trend Elderly Person Measures	必修	講義	1	30				30			加齢による社会的・身体的変化や日本の高齢化対策に関する法律・制度とその実践を学ぶ。
		栄養と食事 Nutrition and Meal	必修	講義	1	30		30					健康維持のための食生活について理解し、機能障害を持つ対象の健康状態の改善のための食事療法について学ぶ。
		臨床薬理学 Clinical Pharmacology	必修	講義	1	16		16					薬物の科学的特徴、作用機序と生体に及ぼす影響を知り、健康障害の治療としての薬理作用と理学療法時の注意点を学ぶ。
		蘇生と救急処置 Reanimation and First Aid	必修	講義 演習	1	16			16				臨床の場で実施される応急手当の基礎知識(気道異物除去や止血法、心肺蘇生法など)を学び、実施できる。
		画像診断学 Radiology	必修	講義 演習	1	16				16			各種撮像法の基本原理と画像診断の理論を学ぶ。画像に関する知識は、理学療法士として患者の病態を把握し、治療プログラムを作成する上で重要な基礎となる。
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論 Introduction to Rehabilitation	必修	講義	1	16	16						リハビリテーションの理念(自立支援、就労支援等を含む)と基本原理や障害論、チーム医療、各種医療制度について学ぶ。
		リハビリテーション医学 Rehabilitation Medicine	必修	講義	1	16			16				基礎医学で学んだ知識を基に、リハビリテーションの対象になる各種疾患の障がい像、リハビリテーションのかかわりを学ぶ。
		チーム医療概論 Introduction to Team medical	必修	講義	1	16	16						チーム医療の定義や目的を知り、多職種連携における理学療法士の役割や責任、連携について学ぶ。
		チーム医療演習 Team medical & Practice	必修	演習	1	30			30				多職種連携における理学療法士の役割や責任、連携を理解し、関係諸機関の調整および教育的役割を演習を通じて学ぶ。
		社会保障制度 Social Security System	必修	講義	1	16			16				社会保障制度の概要を体系的に理解すると共に、社会や経済の変化を理解し、今後の社会保障の動向を学ぶ。

理学療法士学科

系列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1年		2年		3年		講義概要	
							前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門分野	基礎 理学療法	理学療法概論 Introduction to Physical Therapy	必修	講義	1	30	30						理学療法の歴史や法律、教育カリキュラムや治療システムなどを学び、理学療法に関する理解を深める。	
		理学療法基礎演習 basic Physical Therapy & Practice	必修	演習	1	16		16					理学療法の実践に必要な基礎的要素を理解することにより、理学療法の全体像への理解を深める。	
		医療統計演習 Medical statistics	必修	演習	1	30			30				医療分野の統計的推論に必要な知識ならびに基本的手法を学ぶ。また、演習を通じて実際の統計処理を行う。	
		理学療法研究法 Methods of Clinical Research	必修	演習	1	30				30			自らが課題を設定し、研究計画を立案し研究活動を実施し、あるいは文献研究に取り組み、その結果をプレゼンテーションする。	
		理学療法研究法演習 Methods of Clinical Research & Practice	必修	演習	2	60					30	30	自らが課題を設定した研究計画をもとに研究活動を実施し、あるいは文献研究に取り組み、その結果をプレゼンテーションする。	
	理学療法 管理学	理学療法管理学 Physiotherapy Management	必修	講義	2	30						30	理学療法に関わる法律、医療・介護保険制度などを通じて職場管理、理学療法教育、職業倫理を学ぶ。	
	理学療法 評価学	理学療法評価学Ⅰ Physical Therapy EvaluationⅠ	必修	講義 演習	1	30	30							理学療法評価の目的・意義を理解し、系統だてて理学療法評価を行うための全体的な流れを理解する。
		理学療法評価学Ⅱ Physical Therapy EvaluationⅡ	必修	講義 演習	1	30		30						「形態測定」「関節可動域測定」「筋力測定」3項目の理学療法評価の目的、意義を理解し、正しく実施するための知識・技術を身につける。
		理学療法評価学Ⅲ Physical Therapy EvaluationⅢ	必修	講義 演習	1	30			30					「感覚検査」「反射・筋緊張検査」「協調運動機能検査」「バランス検査」4項目の理学療法評価の目的、意義を理解し、正しく実施するための知識・技術を身につける。
		理学療法評価学Ⅳ Physical Therapy EvaluationⅣ	必修	講義 演習	1	30				30				ケーススタディにおいて、提示された数値結果や画像評価を基に理学療法評価に必要な統合解釈できる能力を身につける。
		疾患別動作分析学 Operation analysis study according to disease	必修	講義 演習	1	30				30				疾患別に人間の基本生活動作(画像・動画)を観察し分析する方法を学び、現在の能力や問題点が発見できる能力を身につける。
		医療安全 Patient Safety	必修	講義	1	30			30					理学療法場面で起こりえる医療事故やリスク管理を学び、想定できる能力を身につける。
	理学療法 治療学	体表解剖演習Ⅰ Body Surface AnatomyⅠ	必修	演習	1	30	30							肉眼解剖学の一部で、骨・靱帯・神経・動脈などの構造や働きを触察しながら学ぶ。
		体表解剖演習Ⅱ Body Surface AnatomyⅡ	必修	演習	1	30		30						肉眼解剖学の一部で、筋肉の収縮・動き、その際の体表の変化などを触察しながら学ぶ。
		運動療法学 Therapeutic Exercise	必修	講義	1	30			30					身体の運動を科学的に捉え、運動を基礎として機能回復に応用する運動治療学について学ぶ。
		物理療法学 Physio Therapeutics	必修	講義	1	30			30					物理特性を応用した治療法の原理と各種物理療法に対する生体反応を理解し、その適応を学ぶ。

理学療法士学科

系列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1年		2年		3年		講義概要
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門分野	理学療法治療学	運動器系理学療法学Ⅰ Physical Therapy for OrthopedicsⅠ	必修	講義	1	30			30				骨折を主とした整形疾患に対する理学療法の適用に関する知識と技術を学び、問題解決能力を身につける。
		運動器系理学療法学Ⅱ Physical Therapy for OrthopedicsⅡ	必修	講義	1	30			30				関節系疾患を主とした整形疾患に対する理学療法の適用に関する知識と技術を学び、問題解決能力を身につける。
		運動器系理学療法学演習 Physical Therapy for Orthopedics & Practic	必修	演習	1	30				30			病院や地域を想定した運動器系疾患に対して、対象者の自立生活を支援するために必要な課題解決能力(理学療法実践力)を培う。
		中枢神経系理学療法学Ⅰ Physical Therapy for NeurosurgeryⅠ	必修	講義	1	30			30				脳血管障害を主とした中枢神経疾患に対する理学療法の適用に関する知識と技術を学び、問題解決能力を身につける。
		中枢神経系理学療法学Ⅱ Physical Therapy for NeurosurgeryⅡ	必修	講義	1	16			16				神経・筋疾患を主とした中枢神経疾患に対する理学療法の適用に関する知識と技術を学び、問題解決能力を身につける。
		中枢神経系理学療法学演習 Physical Therapy for Neurosurgery & Practic	必修	講義	1	30				30			病院や地域を想定した中枢神経系疾患に対して、対象者の自立生活を支援するために必要な課題解決能力(理学療法実践力)を培う。
		末梢神経系理学療法学 Physical Therapy for Peripheral nerve	必修	講義 演習	1	30			30				末梢神経疾患に対する特有の評価から治療技術、問題解決までの理学療法を、演習を交えながら学ぶ。
		脊髄損傷の理学療法学 Physical Therapy for Spinal Cord Injury	必修	演習	1	30			30				脊髄損傷疾患に対する特有の評価から治療技術、問題解決までの理学療法を、演習を交えながら学ぶ。
		内部障害理学療法学 Physical Therapy for internal organ disease	必修	講義	1	30			30				呼吸・代謝疾患を主とした内部障害の理学療法の適用に関する知識と技術(喀痰等の吸引を含む)を学び、問題解決能力を身につける。
		内部障害理学療法学演習 Physical Therapy for internal organ disease & Practic	必修	演習	1	30				30			病院や地域を想定した内科系疾患に対して、対象者の自立生活を支援するために必要な課題解決能力(理学療法実践力)を培う。
		小児発達系理学療法学 Physical Therapy for Pediatrics	必修	講義	1	30			30				小児の先天性・後天性疾患に対する理学療法、その疾患特有の評価から治療テクニックまで、実習を交えながら学ぶ。
		義肢装具学 Prosthesis & Orthosis	必修	講義 演習	1	30				30			義手、義足、装具の基本的構造と機能について理解し、その種類や適合方法、切断の理学療法について学ぶ。
		理学療法技術演習 Physical Therapy Skill	必修	講義 演習	1	30				30			疾患に対する知識や理学療法評価内容を基礎にして、様々な治療アプローチ方法について学ぶ。
		理学療法総合演習 Physical Therapy for integrated study	必修	演習	2	60						60	臨床現場での理学療法に関する最新のトピックスを知り、様々な出来事とその対応策を学ぶ。また、理学療法士の役割とニーズを探索し、新しい職域の開拓につなげることを目的とする。
		スポーツ理学療法学 Sports Physiotherapy	必修	講義 演習	1	30			15	15			医療機関におけるリハビリテーション、およびスポーツ現場におけるアスレティックリハビリテーションを実践するために必要な知識と技術を習得する。
		理学療法治療演習 Physical Therapy Exercises	必修	演習	1	30					30		臨床実習で経験した運動器障害、内部系障害、神経系障害の症例にもとづき、その機能評価診断、治療計画の立案、および治療についての演習を行う。

理学療法士学科

系列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1 年		2 年		3 年		講義概要
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門分野	理学療法	日常生活活動学 Activities of Daily Living	必修	講義 演習	1	16				16			日常生活活動を構成する要素を理解し、理学療法士の立場で支援・指導できることを目標に適切な日常生活活動を評価および指導できる能力を身に付ける。
	地域理学療法学	地域理学療法学Ⅰ Physical Therapy for Local AreaⅠ	必修	講義	1	30		30					地域包括ケアシステムのあり方を学び、理学療法士としての関わりを学修する。障害を持つ人の自立生活に必要な住環境整備の知識や実際に学ぶ。
		地域理学療法学Ⅱ Physical Therapy for Local AreaⅡ	必修	演習	1	30			30				医療施設内にとどまらない地域に根ざした理学療法士とは何か、またその役割について学ぶ。
		公衆衛生学 Public Health	必修	講義	1	16	16						公衆衛生学の概念、方法の基礎を学ぶ。予防の考え方・アプローチ方法等に関する知識を習得する。
	臨床実習	見学実習 Clinical Early Exposure	必修	実習	2	80			80				見学実習は、対象者への対応等についての見学を実施する。対象者や施設・医療スタッフに対して適切な態度で接すること、診療チームの一員としての理学療法士の役割について学ぶ。
		実習評価Ⅰ(演習) Practice Evaluation	必修	演習	1	30				30			検査測定実習前に疾患別の理学療法の評価技術について実習を行い事前学習に充てるとともに、検査測定実習の履修前提条件として客観的に学生の臨床能力および統合的知識を検定する。
		検査測定実習 Laboratory Testing and Measurement Practice	必修	実習	4	160				160			診療録等からの間接的情報収集や対象者への直接的情報収集(検査・測定等)を通じて、対象者の状態等に関する評価を実施する。
		実習評価Ⅱ(演習) Practice Evaluation	必修	演習	1	30					30		評価実習前に疾患別の理学療法の評価技術について事前学習に充てるとともに、評価実習の履修前提条件として客観的に学生の臨床能力および統合的知識を検定する。
		評価実習 Clinical Assessment Education	必修	実習	6	240					240		様々な疾患・状態の対象者に対して基本的な検査・測定等を適切に実施することを学ぶ。さらに、得られた情報から障害像を考え、課題解決に向けた仮説を立てる過程を学ぶ。
		実習評価Ⅲ(演習) Practice Evaluation	必修	演習	1	30						30	実習の過程で必要になる知識と技能を統合することを目的とする。実習にあたっての心構えや症例記録の方法、模擬症例による評価から理学療法の実施までを包括的に学習する。
		総合臨床実習 Clinicai Education	必修	実習	8	320					160	160	様々な疾患・状態の対象者を数多く経験し、経過の観察を通じて理学療法の効果を学ぶ。また、診療録等への記載方法やカンファレンスへの参加など、様々な理学療法業務についても理解を深める。
	総時間数				110	3120	534	592	611	583	490	310	